

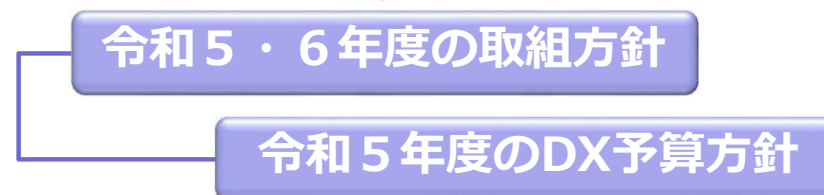
【資料5】 令和5年度・6年度の 取組方針について

デジタル化推進本部会議
(総務部 情報戦略課)

(1) 考え方について

＜将来像・ロードマップの実現に向けて＞
○10年後・3年後、それに向けたロードマップを実現するにあたり、概ね全庁的に必要な取組などに資する予算などを重要視

＜政府・府省庁の動向＞
○骨太の方針、デジタル臨調、デジタル田園都市国家構想などの動向を踏まえて、本市として取組が必要な視点などを重要視



(2) 今後のスケジュールについて

- ・ 将来像・ロードマップを踏まえたプロジェクトチーム(骨子)
- ・ 推進チームの検討状況の共有
- ・ 令和5・6年度の取組方針(骨子)の提示
- ・ **令和5年度DX予算方針(案)の協議**

第2回本部会議：6月28日

全庁へ方針等通知(6月：令和5年度DX予算)

- ・ プロジェクトチームの論点共有
- ・ **令和5・6年度取組方針(案)の協議**
- ・ 導入計画書の通知(案)の報告

第3回本部会議：7月20日

- ・ **令和5・6年度取組方針の最終確認**
- ・ 導入計画書の提出状況 等

第4回本部会議：9月or10月で調整中

全庁へ方針等通知(秋頃：令和5・6年度取組方針)

- 令和5・6年度の取組方針(素案)は、今後、本部会議にて深堀議論し、具体化。
- この2年間でDXを一層加速させていく期間とし、市役所をリニューアルするくらいの気概で全庁で取り組む。
- 第2・3回本部会議等での議論を踏まえ、秋頃の本部会議にて全庁合意を図り、全庁通知を予定。

【取組方針1】 将来像実現の推進

【個別方針】

- 3年後の将来像に向けて着実に取組を前進させ、実装化すること。そして、10年後の将来像へ一歩でも近づけていく。
- 3年後・10年後の将来像については、常に技術動向や政府方針等を踏まえ、随時更新しながら、新たな取組を検討・実証・実装していく。
- また、自らの職務の枠に捉われない、若手職員や民間企業からの提案など自由なアイデアの実装に向けて、常に情報収集をしながら更に深堀・実証していく。

【具体的な取組イメージ】

- 民間企業との連携による実証、それに基づく実装。
- 府省庁事業などへの戦略的・積極的なエントリーによる実証、それに基づく実装。
- 企業版ふるさと納税等の活用による投資コストを抑えた実証、それに基づく実装
- 将来像に付随する課題や実施したい事項の積極的なPRによるタッチポイントの増加。

【取組方針2】 徹底した DX・業務改革

【個別方針】

- 既存ツールの徹底的な活用、部会や推進チームでの議論を踏まえた内部事務改革(BPR等)、効率化を着実に実行に移していく。
- それらの取組をベースにしながら、全業務における徹底的なDX・業務改革を推進。
- 令和3・4年度取組方針1・2を継続的に実施し、市民サービスの向上を図る。

【具体的な取組イメージ】

- 各種手続のオンライン化への移行完了(オンライン化率：100%) (※)
※国・県の法律等でオンライン化が適当でない手続等を除くが、対面のやり取り・物理的授受を伴う申請なども対象。
- キャッシュレス決済の推進
- 業務改革部会・スマート窓口部会での検討内容の具体化
- ペーパーレスの徹底、フリーアドレスの推進、それに付随する庁内環境の改善
- 既存ツール等を活用した日常的な業務改善(BPR)の着実な実施

【取組方針3】 DX×官民連携

【個別方針】

- 豊田市オープンデータガイドライン(改定版)により拡充されたオープンデータを活用した官民連携を促進する。
- デジタル田園都市国家構想などに鑑み、データを活用した施策・サービス構築、オープンデータの拡充を加速するとともに、民間企業など一層の連携を図る。
- 官(市役所)だけで実施できることは限られている認識のもと、方針1・2を推進していくためにも民間との連携は必須である。積極的に民間連携に取り組み、実証なども積極的に実施していく。
- 民間との連携はシステムなどだけでなく、人材面での連携も視野に入れて取り組む。

【具体的な取組イメージ】

- データを賢く活用した新たなサービス構築
- 府省庁事業などへの戦略的・積極的なエントリーによる実証、それに基づく実装(再掲)
- 企業版ふるさと納税の活用による投資コストを抑えた実証、それに基づく実装(再掲)
- 民間からの副業人材など、多様な手法による外部人材を活用したDXの推進

■ 令和5・6年度の取組方針を踏まえて、以下の視点を中心に今後の取組事項を具体化していく。

① 各方針における取組事項の具体化

○ 具体的な取組イメージをベースにしながら、各部室局の将来像、府省庁の方針、民間企業のトレンドなどを踏まえ、より具体的な取組事項を整理・明示していく。

② 各方針における取組事項の優先順位について

○ 1で整理した取組について、本市が置かれている現状や課題感を踏まえ、優先順位などを明確化し、全庁的に注力していく取組を分かりやすく共通認識できるようにしていく。

③ 各部会等の検討状況との連動

○ 部会・推進チーム・若手DXPJなどで検討・実施する取組との連動を図りながら、各方針に位置付ける取組を整理する。

④ その他

○ スマート窓口など全庁的に取り組んでいる取組が行きつく先のイメージなどの明確化
○ 全庁的にあふれている課題の集約 等